

地域で考えるポロトの森の活用と保全

胆振東部森林管理署 業務グループ

若松ちさと

白老町役場

建設課

土木グループ

主事

坂本 世悟

研究の背景・目的

平成23年11月、白老町で森林フォーラムが開催された。ポロト自然休養林（以下ポロトの森）の活用や保全について、基調講演・地域関係者によるパネルディスカッションが行われ、地元参加者からもポロトの森の活用と保全について真剣に取り組むべきだと意見が出された。

フォーラムの提言を踏まえ、ポロトの森の資源を発掘し活用と保全を検討するため、地域関係者の連携・協働を具体化することを目的に、胆振東部森林管理署の呼びかけで協議会を発足し、平成24年7月から平成26年10月まで取り組んだ。

研究の内容・成果

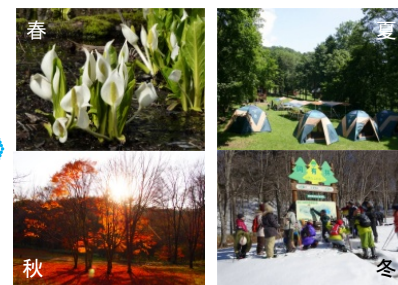
1年目 資源の洗い出し



各機関の活動状況の共有



森の資源の再確認



ポロトの森の四季

2年目以降 活用の検討



トレイルランニングの検討（外部講師講演）

利用者の状況	お金の話	施設利用満足度	その他
・利用施設 ・利用日数 ・利用人数 ・利用回数 ・利用目的 ・助めるか	・買物場所 ・店名 ・買い物単価	・お気に入り ・テント ・バンガロー ・炊事場 ・トイレ ・受付付け案内	・木の良さ理解度

キャンプ場・バンガロー利用者アンケート設問内容

どのような人がポロトの森を利用しているだろう？

利用者の声が資源活用の道標になる！？

3年間の協議会により、地域関係者間で情報共有、積極的な意見交換の場ができた。以前は線的であった繋がりが面的になり、相互にイベントへ協力するなど、連絡や協働の体制が強化した。

今後の展開

白老町は2020年に国立アイヌ民族博物館の一般公開が決定し、町内外から今後の展望に期待が高まっている。資源の活用と保全について、ポロトの森とその周辺に整備される民族共生の象徴空間との関係も見据え、引き続き地域関係者と検討していきたい。アンケートは、これまで情報を収集する作業だったため、今後はデータを蓄積し、具体的な取組に活かせるよう関係者と検討を続けていきたい。

メモ